

第 II 卷 2 刷に対する正誤表

- p.80, 下から 2 行目 $D := 1 - x^2 - y^2 \geq 0 \implies D := \{(x, y); 1 - x^2 - y^2 \geq 0\}$
- p.83, 最下行 3) の問題の式の最後の dy を dx にする
- p.85, 下から 6 行目 体積はほぼ \implies 面積はほぼ
- p.103, 上から 3 行目 $a \in X$ が X の外点とは $\implies a \notin X$ が X の外点とは
- p.103, (脚注をカウントせず) 下から 4 行目および 5 行目 (各 1 箇所ずつ)
 $a \in X$ が $\implies a$ が
- p.123, 上から 6 行目 単純収束と \implies 各点収束あるいは単純収束と
- p.131, 下から 7 行目 この行末に次を追加する (1 行増加しますがこのページ内で処理してください):
 $\{|x| < r\}$ はこの冪級数の収束円と呼ばれます. (なぜ“円”なのかはすぐ後で分かるでしょう.)
- p.134, 下から 8 ~ 9 行目
 しているとは限らず, 半径をほんのちょっと縮めたところで一様収束しているの
 で, このようにいうのです.
 \implies
 していなくとも, 半径をちょっとでも縮めたところでは一様収束しているとい
 う意味です. 実際, 定理 8.8 の証明から (章末問題 13 参照), $\forall \rho' < \rho$ に対し
 $|x| \leq \rho'$ で一様収束していることが分かります.
 (1 行増加しますが, 行間調節でページ内に収めてください.)
- p.162 最後に次の問題を追加:
 問題 13 ~ (Weierstrass の M 判定法) 集合 D 上で定義された函数列 $\{f_n(x)\}$
 に対し, D 全体で $|f_n(x)| \leq M_n$ を満たし, かつ $\sum_{n=1}^{\infty} M_n$ が収束するような正数
 列 $\{M_n\}$ が求まれば, 函数項の級数 $\sum_{n=1}^{\infty} f_n(x)$ は D 上一様収束することを示せ.
- p.203, 下から 3 行目 $\frac{\partial}{\partial x^2} + \frac{\partial}{\partial y^2} \implies \frac{\partial^2}{\partial x^2} + \frac{\partial^2}{\partial y^2}$
 (これは 2 刷における修正のし損ないです.)

p.254 問題 12 の解答の後に以下を追加 :

問題 13 $\forall \varepsilon > 0$ に対し N を $\sum_{n=N}^{\infty} M_n < \varepsilon$ となるように選べば, もとの級数の
一様収束の条件が満たされる .

p.266 左コラム, 上から 6 行目 索引語“ 重積分 ”の次の行に以下の索引語を追加 :
収束円 (circle/disk of convergence) 131

p.267 右コラム, 上から 9 行目 索引語“ ワイヤストラスの定理 ”の次に以下の索引語を追加 :
ワイヤストラスの M 判定法 (Weierstrass' M -test) 162